



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月30日

上場会社名 株式会社 リアルビジョン  
コード番号 6786 URL <http://www.realvision.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉山 尚志  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 三須 貴夫

TEL 045-473-7331

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	117	△92.0	△166	—	△203	—	△204	—
23年3月期第3四半期	1,466	9.5	△402	—	△439	—	△302	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △238百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △404百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△4,964.21	—
23年3月期第3四半期	△7,338.35	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	950	885	93.2	21,500.00
23年3月期	1,262	1,124	89.0	27,297.13

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 885百万円 23年3月期 1,124百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150	—	△200	—	△200	—	△202	—	△4,904.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	41,187 株	23年3月期	41,187 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	1 株	23年3月期	1 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	41,186 株	23年3月期3Q	41,186 株
----------	----------	----------	----------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(6) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間、当社グループ（当社及び当社の連結子会社）のおかれました経営環境につき、世界経済は、欧州の債務問題による金融不安の拡大、米国の景気回復の懸念、さらに、中国をはじめとする新興国の成長の鈍化等により、先行き不透明な状況が続いております。国内経済は、東日本大震災による落ち込みから緩やかに回復しつつあるものの、タイで発生した洪水による生産活動の低下、歴史的な円高傾向の長期化及び厳しい雇用情勢等、予断を許さない状況にあります。

エレクトロニクス業界につきましては、スマートフォン及びタブレットPCの世界的大ヒットもあり好調な分野がある一方、厳しい競争で価格の下落が止まらない液晶テレビ等の分野もあり、まだら模様に移行しております。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の業績は、前連結会計年度第4四半期に韓国のWIDE Corp.（以下、WIDE社）が当社連結子会社から持分法適用関連会社に異動したこと及び円高の影響による部材関連事業の不振等により、売上高は117,851千円（前年同期比92.0%減）となりましたが、販売費及び一般管理費の削減に努め（同71.4%減）、営業損失は166,838千円（前年同期営業損失402,421千円）、経常損失は203,391千円（前年同期経常損失439,103千円）、四半期純損失は204,455千円（前年同期四半期純損失302,237千円）と前年同期と比較し損失は大幅に減少いたしました。

なお、WIDE社の当第3四半期の業績（韓国会計基準）は、売上高について医用及び航空管制向け液晶モニターの販売が順調で前年同期比34.5%の増収となり、通期業績は前期に続き黒字を確保する見通しです。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

#### 1) グラフィックス関連事業

産業用グラフィックス事業は、国内の医用向け画像システム及び航空管制向けグラフィックスボードの販売につき、東日本大震災の影響等により低調に移行しましたが、WIDE社製のマンモグラフィ用10メガ高精細モニタを国内で初めて宮城県仙台市地域の中核病院である東北労災病院に販売いたしました。また、次期以降の事業拡大の為、医用向けグラフィックスボードの新製品「UMDシリーズ」のサンプル出荷を行う一方、医療事業の拡大を図る国際的な大手優良メーカーと共同開発も進めております。さらに、パートナー企業と協力し、当社独自技術のFVT（注）を搭載した医療専用PCの試作機の開発を行い、当該試作機による医療ベンダーへのマーケティング活動を開始いたしました。アミューズメント事業は、遊技機器メーカーへの営業を進め、開発のサポートを継続的に行っております。また、「JIGENシリーズ及びRacroix」について、POSシステムの表示機器等の新規用途の開拓を推進しております。

この結果、売上高82,975千円（前年同期比93.1%減）、セグメント損失56,978千円となりました。

#### 2) 部材関連事業

急激な円高により日本から部材関連を輸入するのがコスト高となり、顧客が輸入先を日本から他国に変更した為、売上高34,876千円（前年同期比86.9%減）、セグメント利益320千円となりました。

#### (注)FVT〔ファインビューテクノロジー〕

当社が独自開発した、デジタル医用画像を汎用モニタ上で実現するための技術。DICOMキャリブレーションや、輝度均一化制御、モニタ管理機能などを、汎用モニタで実現することができる。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比較し312,338千円減少し、950,320千円となりました。資産の内訳は、流動資産が687,463千円（前連結会計年度末比140,113千円減）、固定資産が262,857千円（同172,224千円減）であります。流動資産の主な減少要因は、現金及び預金が93,962千円、有価証券が50,065千円減少したこと等であります。また、固定資産の主な減少要因は、WIDE社の社債償還により関係会社社債が113,122千円減少したこと等であります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、買掛金が37,845千円減少したこと等により、前連結会計年度末と比較し73,577千円減少し、64,821千円となりました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、当四半期純損失204,455千円等により、前連結会計年度末と比較し238,760千円減少し、885,498千円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年10月26日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の通期連結業績予想からの変更はありません。今後、販売及び受注等の状況に応じ、開示ルールに従い、適時、公表してまいります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	650,800	556,838
受取手形及び売掛金	65,337	66,076
有価証券	50,065	—
商品及び製品	49,227	45,658
仕掛品	7,041	4,873
原材料及び貯蔵品	6,765	19,033
その他	4,784	1,428
貸倒引当金	△6,444	△6,444
流動資産合計	827,577	687,463
固定資産		
有形固定資産	20,065	18,083
無形固定資産		
その他	2,884	2,189
無形固定資産合計	2,884	2,189
投資その他の資産		
投資有価証券	54,746	39,676
関係会社株式	338,530	297,174
関係会社社債	166,540	53,417
その他	10,621	10,621
投資損失引当金	△158,306	△158,306
投資その他の資産合計	412,131	242,584
固定資産合計	435,081	262,857
資産合計	1,262,658	950,320
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,426	9,581
賞与引当金	15,250	7,095
その他	50,411	27,705
流動負債合計	113,088	44,383
固定負債		
退職給付引当金	17,800	12,593
資産除去債務	5,721	3,760
その他	1,789	4,083
固定負債合計	25,310	20,438
負債合計	138,399	64,821

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,022,725	3,022,725
資本剰余金	3,489,224	3,489,224
利益剰余金	△5,287,319	△5,491,774
自己株式	△185	△185
株主資本合計	1,224,444	1,019,988
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,199	△16,269
為替換算調整勘定	△98,984	△118,220
その他の包括利益累計額合計	△100,184	△134,489
純資産合計	1,124,259	885,498
負債純資産合計	1,262,658	950,320

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	1,466,063	117,851
売上原価	1,100,041	65,159
売上総利益	366,021	52,692
販売費及び一般管理費	768,442	219,530
営業損失(△)	△402,421	△166,838
営業外収益		
受取利息	2,196	5,317
受取配当金	392	2,070
その他	8,226	1,126
営業外収益合計	10,814	8,515
営業外費用		
支払利息	4,147	—
為替差損	42,880	18,526
持分法による投資損失	—	22,119
その他	468	4,422
営業外費用合計	47,497	45,068
経常損失(△)	△439,103	△203,391
特別利益		
持分変動利益	9,218	—
特別利益合計	9,218	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	924	—
特別損失合計	924	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△430,809	△203,391
法人税、住民税及び事業税	1,063	1,063
法人税等合計	1,063	1,063
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△431,873	△204,455
少数株主損失(△)	△129,636	—
四半期純損失(△)	△302,237	△204,455



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△431,873	△204,455
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,915	△15,069
為替換算調整勘定	23,957	—
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△19,235
その他の包括利益合計	27,873	△34,305
四半期包括利益	△404,000	△238,760
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△295,922	△238,760
少数株主に係る四半期包括利益	△108,077	—

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	グラフィックス 関連	部材関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,199,880	266,182	1,466,063	—	1,466,063
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,199,880	266,182	1,466,063	—	1,466,063
セグメント利益又は損失 (△)	△283,194	4,499	△278,695	△123,725	△402,421

(注) 1. セグメント損益の調整額△123,725千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△123,725千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	グラフィックス 関連	部材関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	82,975	34,876	117,851	—	117,851
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	82,975	34,876	117,851	—	117,851
セグメント利益又は損失 (△)	△56,978	320	△56,657	△110,181	△166,838

(注) 1. セグメント損益の調整額△110,181千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△110,181千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象  
該当事項はありません。